

福祉と当事者のリアル

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 1単位

《担当者名》○大原 裕介 (客員教授 ohara@yu-yu.or.jp) 近藤 綾香 (非常勤講師)
酒井 美結 (非常勤講師) 向谷地 生良 (看護福祉学部)

【概要】

本科目は、地域社会で生きる多様で複雑な課題を抱えた全国でも著名な当事者や実践者をお招きし、リアルに触れる講話やディスカッションを実施する。相手や自分の価値観に出会い、「誰のために、何のために」これから学び、専門職として働いていくかを考える機会とする。

【学修目標】

1. 専門職としてベースとなる正義や価値観について学びを深める。
2. 新たな価値観と出会い、個人の価値観を更新する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

大原裕介 (社会福祉士) 向谷地生良 (精神保健福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉法人の理事長としての実務経験や精神科病院、精神障害者の就労支援等の当事者研究での臨床経験を生かした実践的な教育を行う。